

# 湯の郷苑小規模多機能型居宅介護事業所

## 第2回 運営推進会議 報告書

事業所名：湯の郷苑 小規模多機能型居宅介護事業所

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 (該当に)

日時：令和 7年 6月 27日 (金) 14:00~15:00

場所：湯の郷苑 だんらん

出席者：

利用者代表	0名	知見を有する者	0名
利用者家族	1名	大田市職員	1名
地域住民の代表	0名	その他	0名
事業所職員			1名

本日、欠席となった委員の方には事前に議案を提示しており意見収集を行ったが、特に意見はないと聴取。

### (1) 利用者の状況

#### ① 登録者数

R7. 4月末	登録者数	18人	R7. 5月末	登録者数	17人
	男女比	4:14		男女比	5:12

5月 1名死去、契約終了となる。

#### ② 地域別登録者数 (R7.5月末)

温泉津町	14名
大代町	1名
静間町	1名
久利町	1名

#### ③ 要介護度別 (R7. 5月末時点)

申請中	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	1名	2名	4名	8名	1名	0名	1名

④ 生活状況 (R7. 5月末時点)

世帯	人数	内容
同居	1名	県外に住む3姉妹が1か月交代で帰省し介助
	5名	子供同居
	2名	配偶者と同居
独居	3名	近所に子や親せきがあり支援がある
	3名	家族は市外、県外在住
宿泊	3名	

⑤ 年齢別 (R7. 5月末時点)

65歳未満	65歳以上 75歳未満	75歳以上 85歳未満	85歳以上 95歳未満	95歳以上	平均年齢
0名	1名	0名	13名	3名	88.4歳

⑥ 利用回数 (R7. 4月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	271回	15.9回	9.0回
宿泊	161回	9.4回	5.3回
訪問	31回	1.8回	1.0回
全サービス(一人当たり)		7.5(登録者延数 432)	

利用回数 (R7. 5月分)

	利用回数(延べ)	一人平均(回)	一日平均(回)
通い	278回	17.3回	8.9回
宿泊	160回	10.0回	5.1回
訪問	24回	1.5回	0.7回
全サービス(一人当たり)		7.4(登録者延数 437)	

- ・長期宿泊者…3名(自宅での生活が難しく、特養等への待機者)
- ・月1回の状況確認にて契約継続希望利用者あり
- ・新規登録者は4月から利用開始

## 1. 議題

### ①活動状況報告

R7. 4 月（委員会）安全衛生委員会、感染症対策委員会

身体拘束廃止委員会、事故防止委員会、虐待防止委員会

令和 7 年度第 1 回運営推進会議

大田市サービス事業者協議会総会

（行 事）さくら花見ドライブ

（研 修）接遇研修

R7. 5 月（委員会）安全衛生委員会、感染対策委員会

身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会

（行 事）つつじ鑑賞ドライブ

（研 修）感染症

防災避難訓練（外部の方との共同訓練）

### ②感染症の取り組み

マニュアル作成後それに基づき感染対策を行っております。面会希望の時は健康状態を確認し、健康であれば居室にて換気をしながら、15 分間と決め厳守し行う。

### ③通院支援（R7. 4 月、R7. 5 月分合計）4 月 2 回 5 月 2 回

受診送迎・受診同席	4 回
-----------	-----

### ④事故報告

R7. 4 月（2 件）

① 送迎時に歩行がしんどくなった利用者に対して、一職員が送迎をしないとイケないという思いが強くなり、二人対応で行けばいいと考えてしまったため、他の職員に相談なく行動し本人の体調や状況確認を他職員と相談せず送迎を行った。勤務の面への負担や本人への転倒、体調不良へのリスクが大きくなった。

→ 職員、管理者へ相談し、対応方法を検討していくこととした。また、歩行状態が

悪くなったり、動きが悪くなった際には体調不良の可能性も視野に入れ、送迎を優先するのではなく、看護師へ相談し、指示を仰ぐこととした。
② 職員終業し、自宅帰宅際に、通勤路で自家用車の衝突事故が起きた。
相手の方はおられたが、けが等もなく本人が自分で保険対応を行い事故処理が問題なく終了した。
→ 運転時には周囲を観察して安全運転を行っていくこととした。
R7.5月(1件)
③ 送迎時、玄関を上がる際に膝折れがあり、支えきれず転倒事故が起きたが、怪我がなかったということで当該職員から事業所へ報告なく、後日、利用者本人から転倒があったことを他の職員へ伝え、事故が発覚した。
→事故の状況確認を当該職員へ行い、ケアマネへ報告。
翌日、本人の状況確認、特に外傷もなく痛みの訴えもなし。移動時の動作も変わりなく出来ていた。
玄関内に物があり、動きにくいこともあり、環境整備をケアマネや家族へ依頼し、移動時には声掛けやすぐに対応できる体制をとるようにした。
ケアマネが環境整備と状況確認のため、訪問し本人、家族に謝罪を行う。
当該職員に対して、事故が起きた時点で事業所への報告をするように指導し報告の必要性についても説明、理解を求めた。

⑤ ヒヤリハット報告 0件

R7.4月(1件)
① 居室掃除中に、縫い針が落ちていることに気が付いて回収した。
→ 針を活用したら、数を数えておき、使用後は確認してしまうとし、活用状況を当日職員と溶融していくこととした。
R7.5月(2件)
① 食事中に急に咳こまれることがあった。
→ 口の中に多めに入れて食べようとしていたことが原因となっており、食事中に

は少しずつ、ゆっくりと食べてもらうように見守りを行いながら声かける。
② 排泄時、ズボンを上げようとして、ふらつき転倒しかける。本人より眩暈の訴えあり。
→ 介助時、声を掛けて転倒しないように見守り実施。体調については主治医と相談してもらうこととした。

⑥ 苦情報告 0 件

⑦ 今後の活動予定

R7.6月（委員会）安全衛生委員会、感染症対策委員会  
 身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会  
 令和7年度第2回運営推進会議

（行事）花見ドライブ

（研修）身体拘束研修会（1回目）  
 虐待防止研究会（1回目）

R7.7月（委員会）安全衛生委員会、感染対策委員会  
 身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、事故防止委員会

（行事）

（研修）救急救命講習（実習）  
 事故防止研修

## 2. 意見、要望等

### ・事業所より

保健所より退所された方から結核が発覚したと連絡あり、保健所が来所され、状況確認。接触していた職員や他者等との長時間の近距離接触は特になかったことを伝え、調査の際には感染対策等の対応をする必要はなしとの返答。その後、報告した状況を踏まえ、職員や他利用者の結核検査について保健所で検討され、検査の必要性はないと保健所から入電があった事を報告した。

- ・ 委員より

運転時の事故について、公用車はドライブレコーダーを取り付けたほうが良いと思うとの意見あり。

- ・ 委員より

救急救命講習について、委員への声掛けをしてもらえると、参加を検討したいとの事。

- ・ 行政より

感染症流行状況、食中毒の発表、介護現場回診サポートセンターしまねの開設についての資料提供あり。

#### 次回の予定

令和 7年度 第 3回運営推進会議

令和 7年 8月 29日（金）14:00～